

## タイトル：清不動堂

清不動堂は不動明王を祀るお寺です。不動堂の不動明王（サンスクリット語：Acala）は密教派の真言宗の中で最も崇敬される尊格の一つです。おそろしい表情や炎の円を使って描写されますが、実は不動は大日如来（サンスクリット語：Vairocana）の慈悲深い生まれ変わりで、人々に仏教の真実を広める存在とされます。高野山への遍路道を歩く巡礼者はここで一回止まり、不動明王にお祈りとお供え物をし、聖なる山を歩き続けるのです。

伝統によれば不動堂に祀られていた本来の不動明王の像は高野山の開祖で密教を広めた日本の僧侶である弘法大師（774～835）によるものとのことです。その像は84cmのもので杉を掘って作られたものです。しかし時間と天候により劣化してしまい、いまでは高野山霊宝館で保管されています。

現在は不動坂の遍路道を極楽橋駅から不動坂口女人堂半分ほど登ったところに位置しますが、元々そこにあったわけではありません。清不動堂は元々昔の不動坂の遍路道沿いに建てられていました。しかしその建物は被害に会い、17世紀と1883年に建て替えられました。1915年に不動坂の道が修復と移動をさせられた時に不動堂も現在の位置に移動されました。